

目標3

男女共同参画社会の実現に向けた環境づくり

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和5年度事業実施状況	令和6年度目標
子育てと介護支援の推進	子育て・保育サービスの充実	71	待機児童の解消に向けた保育施設の整備	保育課	保育施設の整備	私立保育所1園、小規模保育施設4園を整備した。(151人の定員増加)	待機児童を解消するため、保育ニーズを把握しながら、保育施設の整備を検討していく。
		72	多様な保育サービスの充実(一時保育、休日保育、病児病後児保育の実施)	保育課	一時保育事業 休日保育事業 病児・病後児保育事業	・一時保育 年間延べ利用者数:5,111人 保護者の仕事の都合で週1～3日程度の保育が一定の期間継続して必要な場合や、入院、通院、災害、事故、出産などの事情で家庭での保育が一時的に困難な場合のための保育サービスを行った。私立保育所2か所、私立保育所11か所で実施した。 ・休日保育 年間延べ利用者数:440人 保護者の仕事などの都合で休日(日曜日や祝日)に保育を必要としている場合のための保育サービスを行った。対象は1歳から小学校就学前までとして、私立保育所2か所で実施した。 ・病児・病後児保育 年間延べ利用者数:1,146人 保育所、幼稚園、家庭保育室、小学校(1～3年生)に在籍する児童を対象として実施した。病気又は病後回復期であることから、集団保育又は集団生活が困難な場合で保護者が勤務等の都合で家庭での保育ができない場合、委託した保育所又は医療機関に整備された施設に一時的に預かる事業を実施した。	保育の必要性のある児童に対し、適切な保育環境を提供するため、また、多様なサービスのひとつとして事業を継続する。
		73	ファミリー・サポート・センターの展開	子ども支援課	ファミリー・サポート・センター事業	子育ての援助をしてほしい人(依頼会員)と手助けしたい人(提供会員)を会員として組織し、会員相互による援助活動の調整、会員登録、研修等を実施した(上尾市社会福祉協議会に委託)。 対象年齢 0歳～小学校6年生 会員数 1,048人 延べ活動回数 2,304件	緊急ファミリー・サポート・センター事業を令和6年7月から開始することでサービスの充実を図る。また、事業の周知や会員数の確保に向けた情報の発信に努める。
		74	子育て育児事業の充実(男性の育児教室含む)	公民館	親子で参加できる講座の実施	【上尾公民館】 「親子で楽しむハロウィンフラワーアレンジ」参加者20人(女性10人、子供10人) 【上平公民館】 「えいごであそぼう！」参加者数16人(男性2人、女性6人、子ども8人) 【平方公民館】 「夏空のもとブルーベリー摘みと楽しいお菓子作り」参加者17人(男性1人、女性7人、子供9人) 「作って楽しい！食べておいしい！練り切りアート」参加者20人(女性8人、子供12人) 【原市公民館】 「親子でマジック！～君もマジシャンになろう～」参加者23人(男性2人、女性8人、子供13人) 「親子ミニ門松づくり教室」参加者20人(男性1人、女性9人、子供10人) 【大石公民館】 「親子で学ぶだし講座～かつおぶしを知ろう～」参加者16人(男性3人、女性5人、子供8人) 「お父さんやお母さんと一緒に走ろう！親子かけっこ教室」参加者38人(男性5人、女性15人、子供18人) 「親子でパン作り」参加者33人(男性2人、女性14人、子供17人) 【大谷公民館】 「体験アツビーパークゴルフ教室」参加者13人(男性2人、女性3人、子供8人) 「親子手ごねパン教室」参加者18人(男性1人、女性7人、子供10人)	引き続き親子で参加できる講座を実施する。
		74	子育て育児事業の充実(男性の育児教室含む)	人権男女共同参画課	(再掲) ハッピー家事シェア講座	(再掲) 家事についてそれぞれの家庭なりのシェア(共有)方法を話し合い、パートナー間の合意のもとでワークやライフを助け合う「家事シェア」について、家族が居心地のいい暮らし方・働き方を考えるきっかけになるアイデアを学ぶ。 講師:三木 智有さん(NPO法人tadama! 代表理事) 6月17日 参加者数8人	男性も対象とした育児に関する講座の開催を検討する。
		75	育児相談事業の実施	保育課	育児相談	市立保育所で保育士による育児相談を実施した。相談件数45件	育児相談の希望のある保護者に対し、適切な相談環境を提供する。
		75	育児相談事業の実施	健康増進課	育児・発達相談事業	子育て世代包括支援センターで妊娠・出産・子育ての悩み、発達の心配等について電話、または来所で随時相談を実施した。 電話相談件数 2,253件 窓口相談件数 2,271件	継続実施 こども家庭センターの設置(子ども家庭支援センター・東保健センター)
		75	育児相談事業の実施	健康増進課	10か月児健康相談	発達が著しく活発になり、成長の節目である10か月児を対象に発育・発達の確認及び保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士が保健指導を実施した。 実施回数 年12回 相談者数 595人	継続実施 12回
		75	育児相談事業の実施	健康増進課	乳幼児健康相談	保健師、栄養士、歯科衛生士による乳幼児健康相談を実施した。 【にこにこ健康相談会】 実施回数 年12回 相談者数 延べ562人	継続実施 12回

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和5年度事業実施状況	令和6年度目標
子育て・ 介護支援の 推進	子育て・保 育サービス の充実	75	育児相談事業の実施	健康増進課	ことばとこころの相談の実施	ことば、行動等心理面・言語面の相談を必要とする幼児と保護者を対象に保健師、心理相談員、言語聴覚士による相談を実施した。 実施回数 年27回 相談者数 延べ448人(うち電話相談6人)	継続実施 年間27回
		75	育児相談事業の実施	子育て支援センター	子育てに関する相談	子育てに関する悩み・不安(健康、発達、しつけ、授乳・離乳食など)の相談に対応した。 相談件数 270件(電話79件、面接189件、メール2件)	相談しやすい環境づくりを意識し、子育ての悩み、不安感・負担感を解消し細やかな支援に努める。
		75	育児相談事業の実施	発達支援相談センター	発達相談	発達の心配、育児の悩みについて、来所または電話で相談を受け、保護者が自信をもって育児ができるように支援する。 相談件数:972件	悩みや心配が解消され、前向きに育児ができるように対応する。必要に応じて各専門相談等に繋げる。
		75	育児相談事業の実施	子ども家庭総合支援センター	家庭児童相談員相談事業の実施	18歳未満の児童を対象に、家庭や学校生活における乳幼児・児童生徒の問題を中心として、電話または来所等で相談を実施した。相談件数412件(電話267件、面接84件、子育てサロン12件、訪問49件)	健康増進課で実施している1.6健診等でチラシを配布し、相談窓口としての周知を強化する。
		76	児童館事業の展開	青少年課	こどもの城 ・にこにこルーム ・にこにこタッチ ・にこにこピョン アッビーランド ・よちよちひろば ・のびのびひろば ・にこにこひろば ・わんぱくひろば	こどもの城 親子で遊びながら友達づくりや子育ての情報交換と悩み事相談を実施した。 ・計34回実施 ・参加者総数860人 アッビーランド 就学前児童を年齢別に、遊びの提供と情報交換を行う事業を実施した。 ・計48回実施 ・参加者総数467人	こどもの城 各々月1回実施 計36回 アッビーランド 各々月1回実施 計48回
	家族介護 の支援の 充実	77	学童保育の充実	青少年課	放課後児童健全育成 (学童保育)事業	放課後児童の健全育成を図るため、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生を対象に事業を実施した。 学童保育所数 40か所47クラス 学童保育所登録児童数 2,442人 利用者の利便性・安全性を向上させるため、学校敷地外にあった学童1か所1クラスを学校敷地内に移転整備した。 R5整備学童保育所 2月:平方小学学童保育所(旧 平方西学童保育所) 準要保護世帯及びひとり親世帯に対し、保育料の一部を補助した。 【補助実績】 4～9月:延べ364人 8,489,900円 10～3月:延べ347人 8,000,100円 年度計:延べ614人 16,490,000円	引き続き、放課後児童クラブで適切な保育を提供するために必要な環境整備を図る。
		78	家族会への支援の充実	高齢介護課	家族会への支援の充実	在宅で介護している家族を対象に、介護経験者の話を聴いたり、不安や悩みを共感できる会を月1回実施している。 ※令和5年度より集合型・予約制で再開。 実施回数:6回、参加者数:延べ15人	介護者になることが多い女性の抱える不安軽減のため、介護経験者の話を聴いたり、不安や悩みを共感できる会を月1回開催する。
		78	家族会への支援の充実	障害福祉課	家族会への支援の充実	障害者の理解促進のため、家族会ほか諸団体と協働し障害者団体や事業所等製品の販売会などのイベントを行った。	販売会などのイベントを開催予定。
		79	相談体制の充実	高齢介護課	地域包括支援センターによる総合相談事業	地域包括支援センターで、介護を必要とする人やその家族などから相談に応じる総合相談事業を実施した。相談の結果、介護保険の認定申請が必要になった場合は代行申請を行った。総合相談事業における相談件数は、令和5年度62,232件だった。	地域包括支援センターで、介護を必要とする人、家族の相談に応じる総合相談事業を実施する。主な介護者になることが多い女性の抱える介護の悩みや不安の解消となるような相談を目指す。
		79	相談体制の充実	障害福祉課	相談体制の充実	市内在住の障害のある人からの生活に関する相談体制の充実を目的とし、基幹相談支援センターおよび5か所の障害者生活支援センターへの委託事業を継続実施した。また、障害者の就労に関する相談・斡旋・調整を実施するため、上尾市障害者就労支援センターの委託事業も継続し、相談件数は20,770件であった。	基幹相談支援センター、障害者生活支援センター、障害者就労支援センターへの相談支援の委託を継続する。
		80	家族介護教室等の開催	高齢介護課	家族介護教室等の開催	要介護高齢者を在宅で介護している家族に対し、必要な介護知識・技術の習得や、高齢者虐待の予防啓発のため、家族の抱える介護の悩みや疑問に答え、適切な介護保険サービス利用の説明等を行う家族介護教室を地域包括支援センターに委託して実施した。 実施回数:11回 参加者数:延べ160人	要介護高齢者を在宅介護している家族に対して必要な知識の習得を支援したり、主な介護者になることが多い女性の抱える悩みや疑問に答える家族介護教室の開催をする。 実施回数:10回
		81	認知症サポーターの養成	高齢介護課	認知症サポーター養成講座の実施	認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けする「認知症サポーター」を養成するための「認知症サポーター養成講座」を開催。令和5年度は29回開催し、563人の認知症サポーターを養成した。うち、女性403人、男性160人だった。	市内の団体に対して養成講座を開催し、認知症についての普及啓発を継続する。また、女性だけでなく男性のサポーターが増やしていけるよう努めていく。
		82	生活サポート事業の継続	障害福祉課	生活サポート事業の継続	障害児(者)およびその家族が必要としている生活支援サービスを、時間単位で提供するための活動を行っている事業所に補助金を交付した。 補助対象事業所 12事業所 補助額 16,905,200円 サービス時間数 7,446時間	生活サポート事業を継続する。

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和5年度事業実施状況	令和6年度目標
子育てと介護支援の推進	男性の自立を支援する講座の開催	83	男性が参加しやすい講座の開催	人権男女共同参画課	(再掲) ハッピー家事シェア講座	(再掲) 家事についてそれぞれの家庭なりのシェア(共有)方法を話し合い、パートナー間の合意のもとでワークやライフを助け合う「家事シェア」について、家族が居心地のいい暮らし方・働き方を考えるきっかけになるアイデアを学ぶ。 講師:三木 智有さん(NPO法人tadaima! 代表理事) 6月17日 参加者数8人	同様の講座をより多くの参加者が見込める対面での講座実施を検討する。
		83	男性が参加しやすい講座の開催	健康増進課	妊婦教室(プレママ教室)・両親学級(パパママ教室)の実施	パパママ教室(両親学級)(平日コースと土曜コース)とプレママ教室(妊婦教室) 講師は、パパママ教室は保健師、プレママ教室は歯科医師、保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士で実施した。 実施回数 パパママ教室年14回、プレママ教室年6回 参加者 パパママ教室延べ537人、プレママ教室延べ122人	継続実施 プレママ教室 6回(平日) パパママ教室 8回(土曜日開催)、6回(平日開催)
		83	男性が参加しやすい講座の開催	公民館	男性向けの講座の実施	【大石公民館】 「男のバランスコーディネーション」関節をほぐし、ストレッチで日常生活の動きを滑らかにしていくプログラム 3回 定員20人(延べ31人)	男性向けの講座を実施するなど、男性の自立を支援する講座の実施を検討する。
地域活動における男女共同参画の推進	地域の住民組織における男女共同参画の推進	84	地域社会や地域活動への男性の参画の推進	子育て支援センター	出張講座を土曜日に開催	公民館等で開催する出張講座(ももっこ広場)を、誰でも参加しやすいよう土曜日に開催した。 ①開催日 7月8日(土) 場 所 上平公民館 参加者 57名 <内訳>保護者31名(男性13名、女性18名)こども26名 ②開催日 10月14日(土) 場 所 大石公民館 参加者 56名 <内訳>保護者30名(男性11名、女性19名)こども26名	主に平日に開催している「ももっこ広場」(市内公民館の体育室等でリズムやゲームなど体を動かすことに重点をおいた出張講座)を、誰でも参加しやすいよう、日程等を考慮し、年2回、土曜日に開催する。
		85	地域社会における政策方針決定過程への女性の参画の推進	市民協働推進課	自治統括員の委嘱	各事務区(自治会)における女性の参画を図った。 ・自治統括員114人中、女性の自治統括員4人 ※制度改正により、令和2年度からは区長制度から自治会制度に変わったため、区長・区長代理の人数ではなく自治統括員の人数とした。	各事務区(自治会)からの推薦に基づき、自治統括員を委嘱しているが、今後も女性の参画を図る。
		86	自主防犯組織への女性の参画の推進	交通防犯課	自主防犯組織への女性の参画	市内の自主防犯組織101団体中、女性の代表者は1人となっている。また、581人(全体の26.1%)の女性が自主防犯ボランティアに登録し、活動している。	自主防犯組織では構成員の減少が課題となっており、女性の構成員も減少している。自主防犯組織の活動を周知し、できる限り現在の人数を維持すると共に、全体に対する構成比も合わせて維持する。
	ボランティアの育成の推進	87	ボランティアの育成及び活動支援	市民協働推進課	多文化共生ボランティア講習会を開催し、災害時の外国人支援についての講習会、多言語支援センターの運営訓練を実施	・講習会「災害時の外国人支援」1月27日開催 ・多言語支援センター運営訓練「外国人のための災害時多言語支援センターの運営訓練」2月3日開催	引き続き継続。
	市民活動団体との連携	88	市民活動団体との連携の検討	市民活動支援センター	市民活動団体と協働のまちづくり推進事業を実施	令和5年度は協働のまちづくり推進事業補助金として、上尾市市民活動推進協議会において選考(ヒアリング等)を行い、5団体の協働事業を採択した。	引き続き実施。
		88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体の活動支援	女性の地位向上を図るための地域・社会活動事業を実施する女性フォーラムあけおに対して、女性フォーラムあけお補助金交付要綱に基づき補助金の交付を行った。 補助額 120,000円	上尾市男女共同参画推進者登録制度に基づき、補助金の交付を行う。
		88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体との共催事業の実施 『知ってトクする!食品添加物』	食品添加物の使用状況と人体への影響について正しい知識を学び、性別を問わず誰でも健康に自分らしく生活し続けるために必要な自己決定できる危機管理知識を身につける。 講師:樋口 俊之さん(日本薬科大学衛生薬学分野教授) 9月30日開催 参加者 35人	上尾市男女共同参画推進者と連携を行う。
		88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体との共催事業の実施 『「困難な問題を抱えた女性への支援に関する法律」で何が変わる?～DV被害を受けた女性と子どもの実態と必要な支援について～』	DV被害に遭った女性や子どもは、加害者から離れても心に傷が残る。DVを個人の問題ではなく、社会の問題としてとらえ、現状と支援について学ぶ。 講師:遠藤 珠美さん(特定非営利活動法人 パープルネットさいたま代表理事) 10月28日実施 参加者13名	
		88	市民活動団体との連携の検討	人権男女共同参画課	女性団体との共催事業の実施 『私たちの更年期の体を学ぶ』	女性が更年期に入ると身体的、精神的にも様々な不調が起きることがある。自分の体が更年期になるとどのような変化が起きるのかを知り、更年期を少しでも爽やかに過ごせるよう具体的なケアの方法について学ぶ。 講師:木村 志保子さん(ゆい助産院 助産師) 2月20日実施 参加者23名	

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和5年度事業実施状況	令和6年度目標
働く場における男女共同参画の推進	男女の雇用機会均等の確保の推進	89	男女雇用機会均等法の普及・啓発	商工課	企業人権問題講演会」の実施	【内容】 企業における人権問題の啓発活動の一環として事業者向けの講演会を実施した。 【演題】 ①「企業における人権～職場の人権啓発活動～」 ②「公正な採用選考」 【講師】 ①埼玉県人権啓発企業連絡会 代表幹事 筒井 宏 氏(日清製粉グループ本社) ②大宮公共職業安定所 統括職業指導官 豊田 浩之 氏 【日時】 令和6年2月8日 午後2時から4時 【会場】 上尾市プラザ22 【参加人数】 28名	市内企業の人権への取組を促進するため、講演会を実施する。
		89	男女雇用機会均等法の普及・啓発	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		90	ポジティブ・アクション(積極的格差是正措置)の推進	商工課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		90	ポジティブ・アクション(積極的格差是正措置)の推進	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
働きやすい職場環境づくりの推進	仕事と家庭が両立しやすい職場環境の推進	91	育児・介護休業等の取得促進	商工課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	埼玉県が実施している「多様な働き方実践企業認定制度」について、チラシ・ホームページ等で周知を行い、仕事と家庭が両立しやすい職場環境作りの推進を実施する。また、国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		91	育児・介護休業等の取得促進	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		92	ワーク・ライフ・バランス等制度の普及・啓発	商工課	パンフレットの配布等	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	埼玉県が実施している「多様な働き方実践企業認定制度」について、チラシ・ホームページ等で周知を行い、仕事と家庭が両立しやすい職場環境作りの推進を実施する。また、国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
		92	ワーク・ライフ・バランス等制度の普及・啓発	人権男女共同参画課	パンフレットの配布等	男女参画庁内推進会議内にて議題の一つとして取り上げた。	男女参画庁内推進会議内にて議題の一つとして取り上げる。
	各種ハラスメント防止のための広報・啓発活動	93	各種の啓発資料による啓発及び情報提供	商工課	パンフレットの配布等	労働契約や就業規則をめぐるトラブル事例の紹介や対処方法等についての労働セミナーを埼玉県と共催で実施した。 【演題】埼玉県労働セミナー ①「労働法の基礎セミナー～賃金～」 【講師】特定社会保険労務士 高木 美香 氏 【開催方式】動画配信方式 【開催日】令和5年7月12日～ 【視聴回数】362回(動画3種の計) ②「労働法の基礎セミナー～社会保険・労働保険～」 【講師】特定社会保険労務士 東洋大学准教授 北岡 大介 氏 【開催方式】動画配信方式 【開催日】令和5年9月13日～ 【視聴回数】387回(動画3種の計)	労働法令や労働関係の身近な問題をテーマに、職場環境づくりに役立つ知識を提供するセミナーを、埼玉県との共催で動画配信で実施する。 【演題・配信予定日】 ①労働法の基礎セミナー～賃金～ 6月予定 ②労働法の基礎セミナー～社会保険・労働保険～ 7月予定
		93	各種の啓発資料による啓発及び情報提供	人権男女共同参画課	パンフレット等の配布	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等を配布・掲示した。	国・県等で作成したパンフレット・チラシ・ポスター等の配布・掲示を実施する。
女性の就業継続・就業支援の推進	女性が能力を発揮できる就業支援の推進	94	就業継続、再就職のための情報提供・講座の開催	商工課	女性向け就職セミナー「面接でよく聞かれる質問とマナー」の実施	【内容】 女性の就職活動を支援するため、企業の視点や、挨拶や言葉遣い、マナー等を学ぶことができるセミナーを埼玉県及び伊奈町と共催で開催した。 【演題】相手にわかりやすい伝え方講座 【講師】元民法アナウンサー 大塚 美和 氏 【会場】伊奈町総合センター 2F 多目的ホール 【開催日】令和5年9月29日 【参加人数】29名	女性の就業継続・再就職を支援するため、埼玉県及び伊奈町と共催で女性向けセミナーを実施する。
		94	就業継続、再就職のための情報提供・講座の開催	人権男女共同参画課	実績なし	埼玉県女性キャリアセンターの紹介を行った。	講座の企画・開催を検討する

施策	事業	概要 No.	事業概要	担当課	内容	令和5年度事業実施状況	令和6年度目標
女性の就業継続・起業支援の推進	女性が能力を発揮できる就業支援の推進	95	企業における男女共同参画の啓発	商工課	「企業人権問題講演会」の実施	【内容】 企業における人権問題の啓発活動の一環として事業者向けの講演会を実施した。 【演題】 ①「企業における人権～職場の人権啓発活動～」 ②「公正な採用選考」 【講師】 ①埼玉県人権啓発企業連絡会 代表幹事 筒井 宏 氏(日清製粉グループ本社) ②大宮公共職業安定所 統括職業指導官 豊田 浩之 氏 【日時】 令和6年2月8日 午後2時から4時 【会場】 上尾市プラザ22 【参加人数】 28名	市内企業の人権への取組を促進するため、講演会を実施する。
	女性の起業家支援体制の推進	96	女性の起業家のための情報提供・講座の開催	商工課	「本気の創業準備セミナー」の実施	創業したい、創業後間もない方を対象に、スタートアップを支援するセミナーを外部講師を招き実施した。 【演題】(全4回) ①「ビジネス」を知る～経営とは～ ②「ビジネス」を考える～お金の流れと管理～ ③「ビジネス」を発信する～知ってもらい、買ってもらう～ ④「ビジネス」を広げる～しごとづくりは人づくり～ 【講師】㈱フオレスト経営 代表取締役 中小企業診断士 森 尚子氏 【開催日・参加人数】 ①令和5年10月 4日 11名 ②令和5年10月11日 11名 ③令和5年10月18日 11名 ④令和5年10月25日 11名	起業を目指す女性を支援するため、関係機関と連携しながら取組を実施する予定。また、上尾商工会議所との共催で、創業に関するセミナーを6月～7月に実施する。
		96	女性の起業家のための情報提供・講座の開催	人権男女共同参画課	実績なし	埼玉県の女性起業家向けセミナーの紹介を行った。	講座の企画・開催を検討する
	農業に従事する女性支援の推進	97	農業に関わる女性団体への支援	農政課	農業女性連絡協議会運営事業費補助事業の実施	農業女性連絡協議会は生産農家の女性で組織され、女性の社会的・経済的評価と地位向上を図り、健康でゆとりある明るく住み良いふるさとづくりを推進することを目的としている。農業研修会、講習会(味噌づくりなど)を通じて、食の大切さや、食文化の後世への継承づくりを進めている。 また、生産農家相互の情報や技術交換をし、農業や経営について知識を深めている。 ・補助額 219,000円(コロナの影響による活動) ・構成員数 18名	役員会、視察研修会、講習会(まんじゅうづくり、味噌づくり)、アグリフェスタへの参加などを通じて食文化の後世への継承づくりを進める。
女性のキャリア教育の推進と	女性が少なかった分野へのチャレンジ支援	98	農業系・理工系分野に関する情報提供	人権男女共同参画課	STEM(科学・技術・工学・数学)教育講座の実施 ～発想・決める・伝える・未来を生き抜く力の鍛え方～	社会に必要な資質や能力として、科学・技術・工学・数学分野の教育が重要視されており、特に女子の理工系分野における女性研究技術者の割合が未だ低い水準であることが課題であることから、.自発性・創造性・判断力・問題解決力について学ぶ。 R5実績：なし(希望学校なし)	講座の実施等を通して情報を提供する。
		99	キャリア教育講座の開催	人権男女共同参画課	実績なし	埼玉県女性キャリアセンターの紹介を行った。	講座の企画・開催を検討する
防災の分野における男女共同参画の推進	男女共同参画の視点に立った防災対策の推進	100	女性の防災士資格取得の推進	危機管理防災課	自主防災会への勧奨	令和5年度に自主防災会防災士育成補助金の制度を使用して、防災士の資格取得をした女性の数:2人	自主防災会防災士育成補助金の制度を使用して防災士の資格取得をした女性の数:2人(当該補助金は全部で15人分)
		101	男女共同参画の視点でとらえた防災意識の啓発	人権男女共同参画課	人権問題職員研修『災害・防災と男女共同参画』(埼玉県政出前講座)	避難所生活での配慮や日頃の備えなどにおいて、男女共同参画の視点を取り入れた防災対策について学んだ。 講師:黒須 さち子さん(With You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)) 1月16日 参加者93名	男女共同の視点でとらえた防災講座の実施
		102	男女共同参画の視点に立った地域防災計画・各種マニュアルの整備	危機管理防災課	マニュアル整備	・上尾市地域防災計画における性的少数者の表記を「LGBT」から「LGBTQ」に修正した。 ・応急対策業務個別マニュアル作成の一環で、「避難所における性的少数者等相談・支援マニュアル」(人権男女共同参画課作成)の作成支援を実施した。 ・指定避難所での受付名簿の性別欄を(記入)「任意」と明記した。	上尾市避難所運営マニュアルをはじめとした他のマニュアル内の表現について確認し、必要に応じて加筆修正を行う。
		103	消防団への女性の参画の推進	消防総務課	団員募集の広報活動	①火災予防運動に合わせ、上尾駅にて団員募集を女性消防団員と協力して実施した。 ②年に6回実施する分団長会議にて、積極的な団員募集を分団長経由で依頼。 ③11月4日に埼玉県消防協会主催の女性消防団員研修会に女性団員2名参加する。 ④広報あけお等の広報媒体を利用し団員募集を実施。 → 女性消防団員が5名から増員し7名となる。	消防団員の入団に関するチラシを作成し、消防団員募集活動を継続的に実施する。女性消防団員の入団を促進し、9名を目標とする。